# 私たちの一票

第7号

# 投票で 豊かな四日市 きずこうよ

平成23年5月24日発行 四日市市明るい選挙推進協議会 (諏訪町1番5号・市選挙管理委員会事務局内)



近鉄四日市駅前での啓発に集まったみなさん

# 若者への選挙啓発が課題

選挙は、私たちが政治に参加できる最も重要で基本的なものです。より多くの人々が投票することによって、投票率が上がり、より多くの人が望む社会の実現につながっていきます。

健全な民主主義の国家として、一人ひとりが自覚を持ち、一票を尊重されながら納得のいく政治が基本です。

選挙は、明るく、きれいでなければなりません。また、私たち明推協の仲間は、豊かな政治常識 と高い選挙道義を身につけ、明るい選挙を推進する活動をしています。とりわけ、頭を悩ましてい るのは、若者たちの投票率の低さで、目も当てられない現状です。

若者層を中心に、選挙啓発の進め方が、大きな課題となっています。

今後は、髙橋会長を先頭に明推協の仲間が、楽しく、なごやかに親睦を深めつつ、投票率の向上へと前進させるようがんばろうではありませんか。

### 平成23年度四日市市明るい選挙推進協議会委員

平成23年4月1日現在

地区	氏 名	地区	氏 名	地区	氏	名	地区	氏	名	地区	氏	名	地区	氏	名
	鈴木 稔		田中しず子		今村	明義		渡邊	敏弘		日置	得祐	保	山川	憲夫
富	生川 玉雄	常	齋藤 勝子	塩	粕谷	恵子	桜	渡邊信	圭世子	下	豊田	隆	々	相馬	みね
洲	名倉 忠昭	磐	藤原ゆき子	浜	伊藤	惠子		川北	眞輔	野	須原	皓		須賀	亮一
原	藤井 勇		塚本 和泉		中村	勝之		坂井	正紀		宮下	博一	中	水谷	謙之
	伊藤 盛惠		久保田 恰		森	法子		池村 一三			筒井美	<b>美知子</b>	部	豊田百合子	
	棚橋 翠		田中 資郎		萩	伸元		藤谷	昌久		渡邉	治		三日百	下 存
	髙橋 佳子	日	小林 幸子	小	中村	實		服部	善男	大	中村多	頁美子		坂口	一昭
	早川多津子	永	寺本都美子	山	水野	幸子		野田	雅春	矢	林	純子		笹原	久子
富	林 玄雄		鏡 澄子	田	北尾	喜子	Ξ	浦村	亨	知	三宅	惠子		森	繁春
田	渡邉 堯子		田中喜代子		辻	俊治	重	熊澤	淳子		三輪	真純	海	渡邉	柳一
	林 正雄		坂下 悦子		小林	三弘		中島	幹雄		山田眞	真美子	蔵	福田	知子
	荒木 暁美		古川とし子	Л	北川	幸男		本田	榮	河	今村	亘		森下	尚子
	渡邉佳代子	四	加藤喜代子	島	廣田加	叩奈子		立石	清視	原	大平さ	さなえ		大塚	義雄
	山下 英	郷	後藤 良子		腰地	孝		神代	正規	田	髙橋	艶子		山本江	工里子
	森 香英子		廣森 義招		鈴木	映子		水谷	秀子		田中	啓之	橋	塚脇	大仁
羽	久志本正彦		舘 法生		島原	正美	県	赤井貞	真知子		田川	壽一	北	服部	富子
津	尾﨑久美子		新開 昇	神	新田	ナみ子		矢田	惠美	水	上村社	い子		諸岡	彌
	山田 明美		田中 鈴子	前	川村き	きさ代		新山み	みゆき	沢	田中貞	貴美子		新屋	正紀
	寺村喜久男	内	土井 靖子		清水	克二		伊藤	征雄		田中	夏子		家城	進
常	谷﨑 滋夫	部	堀 よしみ		田中	明美	八	石田	隆子	保	廣田	俊隆	楠	川合	弘吉
磐	別所 春代		水谷 隆	桜	眞川	勇	郷	宮島	久	々	齊藤さ	さち子		藤田	倫子
			光本 哲夫		服部雪	幸一郎 ————————————————————————————————————		山尾	和子		堀	春代		中村	妙子



総会で感謝状 を受けられた 方(敬称略) 林 玄雄、髙橋 佳子、早川 多津子 (富田地区)、坂下 悦子 (四郷地区)、眞川 勇 (桜地区)、三宅 恵子、林 純子 (大矢知地区)、斉藤 さち子、堀 春代 (保々地区)、鈴木 稔、生川 玉雄 (富洲原地区)、田中 鈴子 (内部地区)、山本 江里子 (橋北地区)、小林 幸子 (日永地区)、中島 幹雄 (三重地区)、山田 眞美子 (河原田地区)

広報委員会



#### 長い間ありがとうございました

平成22年度中に退任された方

委員長 萩 伸元 (小山田)

伊藤 清隆(大矢知)、伊藤 静子(塩浜)、矢田 實(楠)

委 員 久保田 恰(日永) 坂下 悦子(四郷) 伊藤 征雄(八郷) 田川 壽一(水沢) 山田 眞美子(河原田)

#### あとがき

- 県知事と県議会議員、そして市議会議員の投票には、期日前、当日の立会いと大変お世話になりました。無事大任をはたしていただきました。厚く幾重にもお礼申し上げます。
- 地区幹事は、4月3日と17日、近鉄四日市駅前で啓発をしました。選挙管理委員会委員長、委員及び事務局、 そして今年から四日市大の学生も加わり投票率向上にがんばっていただきました。
- 明推協を横のつながりをより強固とするには、親睦が大切と、眞川企画委員長の発案の研修視察も今年で3回目となります。行き先が決まりましたらお知らせします。楽しみにお待ち下さい。
- 選挙管理委員会事務局は、2つの選挙や東日本大震災と多忙な時の本号発行でした。事務局に多大なお手数をかけました。心から謝意を表します。

#### モデル事業を終えて

楠地区 新屋 正紀

22年度モデル地区の指定を受けて地区に戻り、予算も何もない中どんな単独事業を実施すればよいのか、広く啓発できる事業には何があるか毎日考えていました。

現在は「敬老会、健康フェスタ、地区の運動会、地区文化祭」行事における啓発が主であり、モデル地区指定に伴う新たな事業を加えることが至難の業でありました。

ポスター募集に伴う事業は単独事業にならないでしょうし、楠地区として何か単独で啓発事業を実施しなければモデル地区の指定を受けた意味がないと考え、各委員さんと協議しましたがこれ以上楠地区で成果の出る事業は無理であるとの結論でした。



大四日市まつりでの啓発

それじゃどうすれば良いかと成った時、22年度モデル地区の指定を受けた地区の皆さんの協力を戴けるのなら、4地区(中部・小山田・大矢知・楠)合同で「大四日市まつり」の会場で啓発させて戴こう、「四日市市明るい選挙推進協議会」の会員なのだから、地区に拘らず広く考えれば良いのだからと勝手な判断と結論になり、モデル地区での事業としようということに成りました。

準備等を含め選管事務局職員の多大なる協力を戴きましたこと厚くお礼申し上げます。



作品を掲示する谷村校長

## 「おやまだ」だよりより

小山田地区は昨年度、明るい選挙推進事業のモデル地区でした。 地区活動の啓発に、小山田小学校5・6年生68名全員に啓発ポスターを描いていただきました。 どれも力作ぞろいでした。

谷村校長は、「小さい時から選挙の大切さを教えるのに、大変意 義のあること」と話されました。

# 四日市選挙啓発学生会「ツナガリ」

会長 石田 沙也佳

私たちは、四日市大学の学生を中心に活動をしています。自分たちの世代の投票率を上げることを目指し選挙に向けて頑張っています。団体名の「ツナガリ」は、若者と選挙との「ツナガリ」を深め、選挙への意識を変えることが、より良い地域を実現させ四日市の未来(次の世代)への「ツナガリ」をつくる、という意味です。

将来的には、四日市だけでなく別の地域でも活動したいと考えています。また、他大学の学生も一緒にできればいいなと思います。



近鉄四日市駅前での啓発

主な活動は、自分たちで案を出し合い作成したポスター及びチラシ等で啓発を行いました。

四日市大学内では、ポスターの掲示やチラシを配布して、4月24日の四日市市議会選挙の投票日の啓発・四日市選挙啓発学生会「ツナガリ」の説明・メンバーの募集を呼びかけました。

四日市市内においては、四日市市の飲食店の集まり「アラウンド4」という団体に協力依頼を行い、アラウンド4に加盟している店舗約40店にポスター掲示などをお願いする活動を行ってきました。また、明るい選挙推進協議会の方々と一緒に近鉄四日市駅前での啓発運動にも参加しました。

私たちの活動をより多くの方々に知ってもらい、少しでも若者と選挙が「ツナガリ」を作り、選挙に興味を持って投票に行ってもらえると嬉しいです。

今後の私たちの活動を温かく見守っていただけるように頑張ります。

#### 地道な啓発活動を

明るい選挙推進協議会会長 髙橋 佳子

この度の東日本大震災により尊い命を亡くされた方々のご 冥福をお祈り申し上げますとともに、被災された皆様に心よ りお見舞い申し上げます。

「明推協」は、全国組織で「私たちの広場」を通じ東北地 方独特の郷土色豊かな啓発活動に同じ志を持つ立場として共 感を憶えていましたので心痛め、明推協の皆様にも活動出来 る日が来ますこと、お祈りするばかりです。

今年は、「統一地方選挙」が行われ、四日市市明推協は例 年通り臨時啓発、常時啓発、期日前、当日立会人等選挙に対 する意識向上に励んできました。



アピタ前での啓発

征雄

啓発=高投票率とは必ずしも一致しませんが、私達の活動は地道に身近な方に「明推協」を知っていただき、選挙への関心と投票所へ足を運んでいただけるよう、小さな池の渦を大きな湖の渦にし、志を高く委員の皆様と前進できますようよろしくお願いします。

# 

# 考える選挙と啓発活動 八郷地区 伊藤

選挙とは:国会議員、県知事や県議会議員など議員の様な公職に就く人を投票により、私たちが、より良い暮らしを願って、私たちの代わりにその思いを実現してくれる人々を選ぶ制度「選挙」です。

投票参加を促すには、平常時に啓発活動に出向いて各地区でPRを積極的に行うことが大切で、私の啓発活動は地区の行事に参画して多くの住民にアプローチを実施してゆく事が投票に結び付く事と思っています。主な行事は、文化祭、防災訓練、夏まつり、住民のふれあいまつり等の行事で、啓発活動に結びつけています。

八郷地区の投票結果は、知事・県議会は、八郷47.58%、八郷西51.07%:市議会は、八郷46.52%、八郷西50.19%でした。投票率の目標を60%に、今後の啓発活動を実施したい。

若年層への啓発活動が課題であると思います。政治というと理念が選考して難解でとっつきにくいと感じる若者が政治に対して興味がもてなく感じている中で、今後はどの様に啓発活動をすべきか、若い人たちと連携して積極的に中へ入ってゆけるような啓発活動に取り組みをして行きたい。

#### 成人式での啓発活動のひとこま

四郷地区 坂下 悦子

今年も1月の成人式に、私たち推進委員は、会場の文化会館での啓発活動に参加しました。

会場の前には、二十歳の若者たちでいっぱい。私たちは、この 雰囲気に圧倒されそうでした。それぞれに、啓発物資を手に啓発 に向かいました。

すばらしい着物を着た可愛い女性に近づき「おめでとうございます」「ありがとうございます」「すばらしいお着物ですね、御両親に用意していただいたの」「いえ、おばあちゃんです」こんな会話をしながら、幸せなご家族の様子が目に見えるようでした。

「これから成人になるので選挙に参加してね」「はい、わかり」 ました」と力強く言ってくれました。



はなやかな会場での啓発

今度は男性の集まりの中に入り、やがて来る統一地方選挙には是非参加をと、近くによって行き、若者達に、選挙の啓発に「私達は毎年成人式のときに啓発に来ているの」と話掛けました。そしたら、その中の一人の青年が、「ぼく四日市大学ですが、そんな活動学校でも見た」といわれました。「ぜひ選挙に、これからのあなた達たよりだから参加してね」と呼び掛けました。

こんな会話をしているうちに、少なくとも私の目の前の若者たちは選挙に参加してくれるであろうと期待を持ち、啓発物資を快く受け取っていただき、本日の啓発活動に参加してよかったと思いました。